

国語

【注意】

この問題はマークシート問題と記述式問題とにわかれています。

設問部分に「記」とあるものは記述式問題、「マ」とあるものはマークシート問題です。マークシート問題・記述式問題ともにそれぞれ全問が通し番号になっていますが、記述式問題は設問ごとに個別にわけた解答欄となっています。

それぞれ所定の用紙・箇所解答を記してください。

第1問 次の文の傍線部の読みを、送りがなを含め「ひらがな」で書きなさい。

記1 別室から患者の様子をしばらく窺うことにした。

記2 今回のプロジェクトの実現のためには強靱な肉体と精神とが求められる。

記3 虚空をぼんやりと眺めるようなこの患者の様子に家族が不安を覚えている。

記4 今回の緊急事態を組織改編の千載一遇のチャンスと捉える。

第2問 次の漢字（送りがなを含む）の読みが正しければマーク欄「1」を、誤っていればマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ1 咎める「いさめる」

マ2 羨む「うらやむ」

マ3 重篤「じゅうあつ」

マ4 表沙汰「ひようさた」

第3問 次の文の傍線部の「漢字」表記として正しいものをひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ5 障害物をテツキヨする。「1」轍去 「2」撤去 「3」徹去

マ6 指導の方針にジュンキヨした実習をおこなう。「1」準拠 「2」巡拠 「3」順拠

マ7 キヨギ申告は絶対に容認できない。「1」拒偽 「2」虚偽 「3」去偽

第4問 次の文の傍線部のカタカナを文意に即して「漢字」で書きなさい。各設問には異なる熟語が入ります。また、同じ解答が複数箇所に書いてある場合はすべて誤りとします。

記5 将来を的確に見通すシンボウ遠慮が必要だ。

記6 孤独な状況下でシンボウして過ごす。

記7 この病院の看護師長はとてもシンボウが厚い。

第5問 次のそれぞれの語の対義語ないし類義語をあとの選択肢からひとつ選び、記号で答えなさい。また、対義語の場合はA、類義語の場合はBを、それぞれ区分欄に記しなさい。

- 記8 関与
記9 萎縮
記10 堅持
記11 愚直
記12 寛大

【語群】

- ア. 柔軟 イ. 賢明 ウ. 供与 エ. 歪曲 オ. 狡猾
カ. 伸長 キ. 卑小 ク. 狭量 ケ. 介入 コ. 確保

第6問 次の文中には漢字の変換ミスが三箇所あります。それぞれの語を で囲み、さらにそれを正しい漢字に直して解答欄のそれぞれの箇所(記13～15)に記しなさい。
なお、順序は問いません。

感染症をめぐる状況が深刻化するにつれ、各種の経済活動を縮小せざるを得ない状況もまた国内に拡大するなかで、医療的観点と経済的観点の走法がもたらすメリットとデメリットとの間の近郊をどのように謀るかという問題が、ますます緊急性を伴って認識されるようになってきた。

第7問 次の慣用表現の空欄に入るものともふさわしいものをあとの選択肢からひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

- マ8 機先をハ 「 「
「1」 刺す 「2」 定める 「3」 目指す 「4」 制する
マ9 不意をハ 「 「
「1」 のむ 「2」 もつ 「3」 つく 「4」 うつ

第8問 次の語句の意味としてもっともふさわしいものをあとの選択肢からひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

- マ10 骨を折る 「 「
「1」 無茶をすること 「2」 計画を断念すること
「3」 苦勞をすること 「4」 他人に親切にすること
マ11 板につく 「 「
「1」 仕事にすっかりなじむこと 「2」 従来のやり方にならうこと
「3」 物事に固執すること 「4」 ものの見方が偏ること

第9問 慣用表現を用いた次の文の空欄には、それぞれ身体の部位をあらわす漢字一文字が入ります。文脈から判断してもっともふさわしい漢字一文字を記しなさい。同じ漢字を複数回使用することは認めません。

記 16 ライバルに勝って「 」がすぐ思いだ。

記 17 そろそろ「 」を決めて難題に取り組むべきだ。

記 18 「 」折り数えて退院の日を待つ。

第10問 次の傍線部の現代かなづかいが正しければマーク欄「1」を、誤っていればマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ 12 わるじえ（悪知恵）を働かせる

マ 13 大いにいきおいづく（勢い付く）

マ 14 迷惑をこおむる【注】漢字表記略

マ 15 おおつぶの涙【注】漢字表記略

第11問 論述には、論理的に常に正しいものと、常に正しいとはかぎらないものとがありま
す。次の文章が論理的に常に正しければマーク欄「1」を、常に正しいとはかぎらなければ
マーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

【注】「ゆえに」の前の二つの文の叙述内容は常に正しいものであると仮定します。また、叙
述の内容が実社会の現実と合っているとはかぎりません。

マ 16 咳の症状のある家族はこの病棟には立ち入りできない。この家族は咳の症状がない。
ゆえにこの家族はこの病棟に立ち入りできる。

マ 17 祝日にはいつもこの高齢者施設に近隣の幼稚園児が訪れる。今日は祝日だ。ゆえに
今日、この高齢者施設には近隣の幼稚園児が訪れる。

第12問 次の文と論理的に同じ内容となる文を選択肢からひとつ選び、該当するマーク欄を
チェックしなさい。

【注】叙述の内容が社会の実態と合っているかどうかを問うものではありません。

マ 18 この専門学校の生徒はすべて、病棟実習を無断欠席したことがない。

「1」病棟実習を無断欠席したことがある実習生であれば、それはこの専門学校の生徒
ではない。

「2」病棟実習を無断欠席したことがない実習生であれば、それはこの専門学校の生徒
である。

「3」この専門学校の生徒以外はすべて、病棟実習を無断欠席したことがある。

第13問 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

人びとの看護についての考え方は二通りある。ひとつは、看護とは煩わしく無益な干渉であって（確かに、そういうことが多過ぎる）、できるだけ避けたいという考えであり、もうひとつは、看護は「神秘」だという考えである。患者を導いて何かをさせようとしたところ、ほかの看護師にはどうしてもできなかったのに、ある優秀な看護師の手にかかる患者は喜んでするようになった。こんなとき、人びとはこれを「天才」とみたり、何年か前にロンドンでよく実演されていた生物学を応用した手品の一種ではないかと考えたりする。

ところで、看護については「神秘」などはまったく存在しない。良い看護というものは、あらゆる病気に共通するこまごましたこと、および一人ひとりの病人に固有のこまごましたことを観察すること、ただこれだけで成り立っているのである。

動物に対して不思議な能力を持つ人たちがいる。彼らは森に入って、自分のまわりに野鳥を集めることができる。これはかつては魔法と考えられたこともあったが、現在は、※注計算少年と同様に、われわれの見抜くことのできない何か特殊な能力であると想像されている。しかしそれは、鳥の習性や本能についての綿密な観察によるもの以外の何ものでもない。

それと同じように、患者に対するある看護師の「特殊な能力」や、別の看護師の患者に対する能力不足も、前者には何がどう患者を動かすかについての綿密な観察があり、後者にはその観察が欠けている、ということにほかならない。

患者に勧めて食事を摂らせるときほど、これが顕著に現われることはない。ある看護師のもとで、ある患者が食事を受けつけないために衰弱しているとしよう。それを別の看護師にまわしてみると、彼はたちまち食べるようになる。これはどうしたことか？「彼女は患者をあやつる力を持っている！」と人びとは言う。しかし、それは人間をあやつる力などではない。食事の与え方の問題であり、あるいはまた、患者が楽に嘔み込めるように枕を当てがう方法の問題なのである。ある患者は窓を開けると食が進む。別の患者は顔と手を洗うとよく、またほかの患者は首のうしろを濡れタオルで拭くだけで食べられるようになる。自殺につながるほど気のふさいでいるような患者には、食べる気を起こさせるためのちよつとした元気づけが必要である。看護師は彼の思いに何か変化を与えて、気晴らしをさせる。私は自分が重い病気だったときに、ほかの誰が食べさせてくれても嘔み込めないようなときでも、ある看護師が口にスプーンを運んでくれると嘔み込めたことを思い出す。

ある女性が他人の生命を救うことができるのは、ただこれらこまごました事柄すべての観察によるのであり、けっして不可思議な「他人をあやつる力」などによるものではない。また別の女性が他人の生命を救う手段を見つけれられないのは、このような観察が欠けているからである。

患者が人間の手ではもはや救いようもないほど謔妄状態に陥り、叫び声をあげてあなたを呼び求め、あなたが傍にいないことをわからせることもできない、そんな状態のときでさえも、ちよつとした不用意な物音や不注意な接し方ひとつによって、患者の状態がますます悪化することがよくあり、しかも、不注意を犯した看護師は、そのことにまるで気づかない。

フロレンス・ナイチンゲール『看護覚え書（改訳第7版）』湯楨ます ほか訳（現代社）

※注 計算少年……たいへん複雑な計算をすらすらとやっつてのける能力を持っている天才少年。

マ19↳23 次の各文が本文の内容と合っていればマーク欄「1」を、合っていない、もしくは本文に該当する記述がない場合はマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ19 看護とは煩わしく無益な干渉であるという考えも、看護は「神秘」だという考えも、ともに誤っている。

マ20 動物に対して不思議な能力を持つ人たちは、看護に関しても非常に優れた能力を発揮するはずであると考えられる。

マ21 優れた看護師が患者の命を救えるのは、優れた観察力が備わっているからである。

マ22 不注意によって患者の状態を悪化させてしまうような看護師は、自分がそうした不注意を犯したことにすら気づいていない。

マ23 患者に勧めて食事を摂らせるときには、魔法ではないかと思われるほどの特殊な能力が必要とされることがある。

第14問 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

出産した女性の一〇人に一人が「産後うつ」に苦しみ、そのなかで自殺が多発している――。

二〇一八年九月、日本の妊産婦の死亡原因でトップを占めているのは自殺で、その背景に産後うつという周産期に起きるメンタルヘルスの問題は、欧米では一九八〇年から専門家が注目し、調査や研究が進んだ。日本でも九〇年代から一部の専門医らが関心を持ち、治療にあたってきたが、産科医療や妊産婦健診で

① 認識されるようになったのは近年のこととで、うつ状態に苦しむ妊産婦の多くは見過ごされてきた。

昭和半ばに確立された日本の母子保健制度は、母子健康手帳や定期健診、母親学級など母子の命と健康を守るための仕組みを整え、「日本の妊産婦死亡率の低さは世界トップクラス」といわれてきた。「a」、出産から一年後まで対象期間を広げて二〇一五年―一六年に死亡した妊産婦の事例を集めて分析した結果、出産した女性の死亡原因では「自殺」が九二人と最多で、二位だった「疾患」の二四人の四倍近いことがわかった。

見逃されてきた「周産期の闇」に光があたり、母子健康手帳の交付や妊産婦健診などをおこなってきた昭和以来の母子保健システムに、課題が生じていることが「ア」になった。

日本では、生まれたばかりのわが子を殺してしまう新生児の虐待死亡事例が多い。熊本市の慈恵病院は二〇〇七年、親が育てられない子どもをAトクメイで預けられる「こうのとりのゆりかご（赤ちゃんポスト）」を開設し、同時に、二四時間対応で妊娠の悩みの相談に応じる無料電話サービスも始めた。一〇年間で二万人以上の深刻な相談を受け止めてきたこの病院には、妊娠して一人で悩む人からの相談が、いまでも全国から届く。

「b」、親族や地域の人たちに支えられていた妊娠・出産・育児の営みだが、② いま、若い世代だけでおこなう孤独な営みとなっており、さまざまな困難が発生している。

「c」、国は「妊娠期からの切れ目ない支援」の必要性を認め、「子育て世代包括支援セ

ンター」の設置を全国の市区町村にうながすようになった。日本産婦人科医会と同学会も二〇一七年から診療ガイドラインに産後うつへの対応を明記し、身体の健康だけでなく、メンタルヘルスにも目を配るようになったが、「切れ目」が目立つ支援体制の修復は「イ」ばかりだといえる。

出産のたいへんさは昔も今も変わらないが、日本では伝統的に「産後の肥立ち」などの言葉を使い、分娩後六〜八週間ほどの産じよく期のケアを大切にしてきた。出産経験のある祖母世代やお産婆さんと呼ばれた女性たちが、妊娠と出産で疲労困憊した母体を手厚く世話する文化があった。

そうした慣習が大家族の減少とともに「ウ」されなくなり、里帰り出産も減少するなか、「誰にも頼れない妊産婦」が全国的に増えているとみられる。

熊本県玉名市は、保健師が産前産後のケアを重視してきた歩みがあり、英国で開発された産後うつを発見するための質問票「エンジンバラ産後うつチェックシート」を熊本県が導入すると、いち早く市の乳幼児健診に取り入れた。保健師たちにとってB「気になる母親」が増加していたからだった。

市のベテラン保健師、稲田明子さんは二〇年ほど前から、「お母さんたちが変わったね」「気になる様子の親子が多いね」、と同僚と話すようになっていたという。

一人で赤ちゃんを世話することに疲れて、イライラを抑えられない母親。子どもがせつかく生まれたのに「愛情を感じられない」と悩む人。疲れて表情がなく、子どもに関心を示さない人――。保健師が家庭訪問すると、涙を流して不安を訴え続ける母親もいた。

昔は見かけなかった母親たちの「異変”。精神的な余裕を失い、追いつめられた様子の育児は、育児不安や産後うつ、児童虐待などが多発するようになった近年の状況につながる現象だと、稲田さんはみていた。

「身体面の健康だけをチェックする従来の母子保健では足りない」と気づき、産後の母親たちの「心の健康」をチェックするために導入したのが、③ だった。

「この一週間に笑うことができたか」「はっきりした理由もないのに不安になったり心配したか」など、一〇項目ほどの質問が並び、「できた」「あまりできなかった」という選択肢から実感に合う答えに丸をつけて回答してもらう。回答を点数化して集計すると、うつの症状の深刻「エ」が数値でわかるため、点数が高く、精神的に不安定な母親を見つけやすくなった。

産後うつが疑われる人にはていねいに面談し、家庭訪問などの支援につなげた。「従来の問診では把握できなかった心の状態が、わかるようになりました。誰にも相談できず、一人で悩んでいるお母さんが、これほど多いのだと気づくようになりました」と稲田さんは話す。

「面談したお母さんのなかには、困りごとなどを自由に書いてもらう記入欄に『助けて!』とだけ書いた人もいました。生まれてくる子どもは年々減っているのに、支援とフォローが必要な親子は増えています」

科学的な手法で心の状態を把握できるようになり、産後の家庭で起きている事態も見えてきた。稲田さんによると、うつ症状を発症する人たちの第一の共通点は、夫が長時間労働や転勤などのために不在がちで、母子だけで孤立した環境にいることだった。二つ目の共通点は、母親ががんばり屋さんか完璧主義のタイプで、想定外のことがかかる育児にストレスを強く感じていた。

「産後うつというのは昔もあったのだと思います。でも、周りに家族や近所の人など気にかけてくれる人が大勢いて、母親は孤立しなかった。そもそも伝統的な大家族では、子守りは祖父母の仕事でした。ところが最近では、孫の育児から手をひくおばあちゃんたちが増えていると感じます」

「人生一〇〇年時代」が迫るなか、祖父母たちは仕事や介護をしていたり、趣味や活動に忙しかったりして、孫が生まれても、全面的なサポートに乗り出す人は玉名市でも減っているようだという。

日本でも産後うつが**Cヒンパツ**している現状を、実態調査で明らかにしたのは国立成育医療研究センターの研究者らによる研究だった。東京都世田谷区で出産した妊産婦を対象に調査をして、ベールに包まれていた産後の現実を明らかにした。

調査は、同区内の産婦人科医の協力を得て、出産した約一七〇〇人の女性に対し、妊娠中期―出産直後―出産の二週間後―同一か月後―同二か月後―同三か月後のタイミングでメンタルヘルスの変化を追跡調査し、得られた一四〇〇人以上のデータを分析した。

「d」、産後うつのリスクは出産直後から急速に高まり、産後二週目にピークとなることがわかった。驚くことに、産後の二五%、つまり四人に一人が、この時期にうつの症状で苦しんでいたことがわかったのだった。

母子保健法にもとづいて市区町村が提供する健康診査事業では、産後の母親の健診は「オ」されておらず、おこなっている地域でもメンタルヘルスの検査はもとと含まれていなかった。出産後は、医師や看護師らの関心は新生児の赤ちゃんに移る。

乳幼児の健診は、「二歳六か月健診」と「三歳児健診」の二回が法定健診となっているが、助産師などが家庭訪問して母子の状況を確認する「こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）」も生後四か月までに実施することになっているため、母親にとってうつのリスクが最も高まる産後一か月間は、**④** となっている。

柿原智子『「孤独な育児」のない社会へ――未来を拓く保育』より（岩波新書（新赤版）1816）一部省略

記19 傍線部Aの「トクメイ」を漢字で正確に書きなさい。

記20 傍線部Cの「ヒンパツ」を漢字で正確に書きなさい。

マ24 空欄 ① に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄を

チェックしなさい。

- [1] 特殊な事例として
- [2] 世界全体の状況として
- [3] 欧米特有の問題として
- [4] 一般的な課題として

マ25 空欄 ② に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄を

チェックしなさい。

- [1] 世代間の年収格差が激しくなった
- [2] 親族や近隣の助け合いが薄れた
- [3] 社会全体が少子高齢化した
- [4] SNSで情報を入手しやすくなった

マ26 空欄 ③ に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄を

チェックしなさい。

- [1] 保健師たちの家庭訪問
- [2] 自治体における子育て支援行政の改革
- [3] スマホで簡単に相談できる新しいアプリ
- [4] 英国生まれの質問票

マ27 空欄 ④ に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄を

チェックしなさい。

- [1] 最悪の状況を回避する期間
- [2] メンタルヘルスの調整期間
- [3] 母子の健康を確認する最適な期間
- [4] 公的サポートの空白期間

マ28 文中の「ア」から「オ」に入る言葉の組み合わせとして最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- | | | | | |
|--------------|-----------|--------|--------|---------|
| [1] 「ア」 鮮明 | [イ] 欠点 | [ウ] 継承 | [エ] 指数 | [オ] 効率化 |
| [2] 「ア」 問題 | [イ] 見かけ | [ウ] 連携 | [エ] 状態 | [オ] 具体化 |
| [3] 「ア」 浮き彫り | [イ] 緒についた | [ウ] 伝承 | [エ] 度合 | [オ] 義務化 |
| [4] 「ア」 ニュース | [イ] つぎはぎ | [ウ] 継続 | [エ] 具合 | [オ] 制度化 |
| [5] 「ア」 明らか | [イ] 始まった | [ウ] 伝達 | [エ] 件数 | [オ] 問題化 |

マ 29 文中の「 a 」から「 d 」に入る最もふさわしいものを以下からそれぞれ
32 ひとつずつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。同じ語の重複使用は認めませ
ん。なお、使用しないものがひとつあります。

マ	29	「	a	」
マ	30	「	b	」
マ	31	「	c	」
マ	32	「	d	」

「1」こうしたなか 「2」かつては 「3」それによると 「4」つまり 「5」ところが

記 21 傍線部 B のように、熊本県玉名市の保健師によれば「気になる母親が増加した」とあ
りますが、①それはどんな母親か、②その背景にはどんな点があるか、それぞれ説明しな
さい。解答は①も②も五〇文字以上六〇文字以下の一文で記すこと。句読点も一字分とし
ます。冒頭の「字下げは不要です。」